



ハリーン通信

Vol. 35



〔目次〕

- P1 表紙・県、市町の取り組み 「フードドライブ in 北播磨」 写真
- P2 県、市町の取り組み 「フードドライブ in 北播磨」 北播磨県民局、市町
- P3 不法投棄を許さない地域づくり
 - 不法投棄防止地区の活動紹介 西脇市明楽寺町
 - 不法投棄防止地区の活動紹介 小野市小田上町
 - 不法投棄防止資材の配布と監視カメラの設置 北播磨県民局
- P4 環境学習
 - 虫と環境について学ぶ 加西市立九会小学校
 - みどり園見学 西脇市立日野小学校
 - エコ紙芝居 西脇こども園、黒田庄こども園
 - 小学生環境学習会 小野市市民安全部カーボンニュートラル推進グループ
- P5 寄稿 あびき湿原保全活動 10年講演会を終えて あびき湿原保存会
- P6 地域イベント 草木染めでエコバッグ 小田ふれあいマーケット
 - 行政の活動 アスベスト含有建築物解体工事現場集中パトロールの実施 北播磨県民局
- P7 団体の取り組み ひょうご環境保全連絡会 北播磨支部研修会 北播磨支部
 - ひょうごの環境 ひょうご環境体験館へようこそ (公財)ひょうご環境創造協会
- P8 国・県の取り組み 大部小学校水生生物調査
 - 市町の取り組み ごみ減量化の街頭啓発活動 西脇市

フードドライブ in 北播磨

フードドライブは、家庭で余っている食品を無駄にせず、それを必要とする福祉施設や子ども食堂等にフードバンク等を通じて寄附する活動です。

北播磨地域では、北播磨県民局と北播磨管内の5市1町が連携し、ひょうごSDGs WEEK（令和5.10.23～29）前後の期間に集中して一斉にフードドライブを実施しました。

〔北播磨県民局〕

7月に引き続いて10月25日と26日の2日間、社総合庁舎で実施しました。合わせて694.2キログラムの寄附がありました。兵庫県信用組合（神戸市中央区）からは本支店で集められた米など沢山（193.3キログラム）の寄附をしていただきました。フードバンクはりまを通じて福祉施設や生活困窮家庭、子ども食堂等に配布されました。



〔加東市〕

6月後半に引き続いて、加東市、加東市社会福祉協議会、マックスバリュ西日本(株)の3者協働により、9月上中旬にマックスバリュ社店とマックスバリュ東条店で、それぞれ2日間延べ4日間実施され、200キログラム以上の寄附がありました。また12月上旬にも同じく実施され、234.3キログラムの寄附がありました。加東市内の子ども食堂や支援を必要とする家庭に届けられました。加東市社会福祉協議会では毎月第1金曜日に寄附を受け付けています。

〔西脇市〕

10月中旬の5日間、西脇市役所と市内公共施設の計10カ所で実施されました。全体で360キログラムの寄附がありました。西脇市内の子ども食堂や老人福祉施設に寄贈されたほか、フードバンクはりまを通じて生活困窮者等に配分されました。西脇市社会福祉協議会では通年受け付けています。

〔多可町〕

10月中旬に、ひょうたんやとエコーブ近畿かみ店の協力を得てそれぞれの店頭と多可町役場で実施されました。全体で533キログラムの寄附がありました。フードバンクはりまや多可町関係機関を通じて生活に困っておられる方に届けられました。令和6年2月下旬にも上記の店のほかローソン八千代店の協力を得て実施されました。



〔三木市〕

10月23日と24日の2日間、三木市役所と三木市吉川支所で実施されました。両方で749.7キログラムの寄附がありました。子ども食堂に提供されたほか、福祉部局を通じて生活困窮者の支援として活用されました。

〔加西市〕

10月31日と11月1日の2日間、加西市役所で実施されました。734キログラムの寄附がありました。地域の福祉団体、フードバンクに寄附されました。

〔小野市〕

11月1日から17日までの17日間、小野市社会福祉協議会で実施されました。900キログラムの寄附がありました。小野市内在住の生活困窮者に届けられました。

今後ともフードドライブにご協力をお願いします。

北播磨 フードドライブ



不法投棄防止地区の活動紹介 ～西脇市明楽寺町～



西脇市明楽寺町は西脇市の南西部に位置し、南西は加西市、北は多可町に隣接する面積 308 万平方メートルの地区です。集落内には日本書紀に名を留める6柱の神をまつる六所神社があり、春には樹齢 300 年を下らないと推測されるフジが美しい花を咲かせます。

集落の東側を走る県道 24 号は多可町から加西市に通ずる道路で交通量も多く、近年道路脇の山林や池に不法投棄が多く見られるようになり、不法投棄防止の看板を設置して防止活動に取り組まれています。



県道が片側 1 車線に拡幅されてからは山側への不法投棄は減少しましたが、反対側の雑木林や農業用水池付近は今も投棄が継続しているので、看板の増設を決められました。

当日は2名の役員が、加西市に向かう道路の左側の池付近と、峠の頂上に近い竹林付近の2カ所に「不法投棄防止地区立看板」を設置するとともに、以前設置した看板の補強作業が行われました。

脇坂自治会長は「地区の美化を進めているが、心ない不法投棄を引き続き防止する活動を続けていきたい」と語っていました。

不法投棄防止地区の活動紹介 ～小野市小田上町～



小野市小田上町は、小野市の北東部に位置し、加東市と隣接する面積 212 万平方メートルの地区です。地区内には市立下東条小学校や垣田神社があり、地区内を東西に走る県道 85 号は加東市中心部から三木市口吉川町桃坂や加東市天神に通ずる東西交通の要衝となっています。



地区の北部は山林と田畑が広がり民家も少なく、近年道路脇の山林や空き地に不法投棄が見られるようになったとのことです。

当日は2名の役員が、2カ所に看板を設置されました。特に北部の県道 85 号から北へ抜けた加東市との境にある T 字路付近は人通りが少なく、今後不法投棄が増加する恐れが高い場所として、「不法投棄防止地区立看板」と「監視カメラ作動中看板」を設置されました。地区東部の東条川北側の山林に至る場所にも同様に看板を設置されました。

久後自治会長は「今後とも、監視活動を続けて不法投棄の防止をしていきたい」と語っていました。

不法投棄防止資材の配布と監視カメラの設置 北播磨県民局



北播磨県民局では、今年度も要望があった不法投棄防止地区 32 地区に対して、不法投棄防止地区立看板・簡易型監視カメラ・監視カメラ作動中看板・センサー付ソーラーライト・ごみよけトリー・不法投棄防止ネットなどを配布しました。



監視カメラ（据付型）については、要望があった小野市池尻町に設置しました。太陽光（ソーラー）発電により作動するもので、条件に合った場所が必要ですが、産業廃棄物の不法投棄を防ぐため、今後も監視カメラを活用していきます。

虫と環境について学ぶ 加西市立九会小学校

令和5年9月26日、加西市立九会小学校3年生児童28名を対象にした理科の授業があり、学校周辺の田んぼや畦にいる虫を採集しました。

(協力：あびき湿原保存会3名、北条高等学校先生と生徒4名)

先生からの説明のあと児童達は学校外に出て、田んぼの畦で保存会の皆さんや高校生、先生の指導を受け、また、級友と協力してバッタなどを捕虫網で捕まえ虫かごに入れていました。

教室に戻り、保存会の高田さんから「バッタと環境」のテーマで、環境によるバッタの住み分けについてお話がありました。児童達は、学校周辺は圃場整備や都市化による環境の同質化で虫が住みやすい環境がなくなっていることや、農作物に与える益虫と害虫の関係について学習しました。



みどり園見学 西脇市立日野小学校

令和5年10月19日、西脇市立日野小学校4年生児童23名が、西脇多可行政事務組合みどり園（ごみ処理施設）を見学する授業がありました。

まず、学習プラザで、みどり園の紹介DVD「ごみゼロへの発信基地」を視聴し、続いて業務サービス担当の西村主任からみどり園の施設概要やプラスチックごみの分別方法などの説明を聞きました。

施設内の見学では、ごみ焼却施設のしくみを聞き、集中管理室からガラス越しにごみピット内の作業を見学。金属の焼却残渣、不燃物の焼却残渣、焼却灰などの標本を見ました。

外へ出てごみピットの中を覗いたり、色別に選別されたびん置き場、アルミやスチールの固めた成形品を見学し、最後に高さ59メートルの焼却炉の煙突を見上げていました。

リサイクルプラザでは、家庭用品、ぬいぐるみや衣類、自転車などに児童達は興味津々でした。



エコ紙芝居 西脇こども園、黒田庄こども園

エコ紙芝居は、西脇市が行っている子ども向けの「ごみのお話講座」です。今年も市民エコ会議のメンバー3人が、市内のこども園2園を訪問されました。

令和5年11月9日に西脇こども園で、11月13日に黒田庄こども園で、5歳児を対象に、絵本「もったいないばあさん」と、紙芝居「ごめんね、ごみおばけ」の読み聞かせがありました。園児達はそれぞれ、絵本や紙芝居の読み聞かせを熱心に聞き入っていました。

園児達は日頃の生活で、「エコ」「エコバッグ」という言葉を聞いたり、「もったいない」と家族から言われており、「給食を残さず食べる」「電気や水道の無駄遣いをしない」ことを学びました。



小学生環境学習会 小野市市民安全部カーボンニュートラル推進グループ

令和5年8月24日、小野市立図書館で「小野市小学生環境学習会」が開催され、市内の小学生13名、保護者4名が参加しました。

前半はパナソニック(株)の川北玉紀さんによる「あかりのエコ教室」。机の上に置かれた、白熱灯、蛍光灯、LEDの三つを使って実験。同じ明るさでも3つの電球で電力使用量に差があること、明りがつくしくみが異なっていること、LEDが信号機などで多く使われるようになっていること、無駄なあかりを消すことで省エネできてランプも長持ちすることを学びました。

後半はエコ紙すき体験。身近な生活の中での地球温暖化防止対策の取り組みとして、エコおののメンバー4人の指導で、牛乳パックを細かく砕いて水につけたものを、紙すき道具を使って、はがきを作りました。学習会の最後に、Think Globally Act Locally（地球規模で考え身近で行動せよ）と教わりました。



あびき湿原保全活動 10 年講演会を終えて あびき湿原保存会会長 山下 公明

「あびき湿原」の保全作業を始めて 10 年が経過したことの節目として、兵庫県立大学名誉教授で加西市環境審議会の会長を務めておられる、服部 保氏をお招きして、「自然と共生 明日への加西、北播磨」と題して「持続可能な里山保全」をテーマに 90 分の講演会を、加西市南部公民館でいただきました。

あびき湿原の保全作業は当初から、冬季に高茎草本、低木類の刈り取りを実施して、地面に太陽の光が当たるようにしてきました。湿原周辺の林も常緑樹は切り、落葉樹は残す、これにより生物多様性が生かされています。保全当初無かった草花が数多く顔を出し花を咲かせるようになりました。



あびき湿原の 3 原則は「持ち込まない、持ち出さない、踏み込まない」で、持ち込んだ草花はありません。ササユリがそれを物語っています。ササユリは芽が出て花が咲くまでに 7～8 年かかります。湿原の周辺の笹刈り、樹木の下刈り、常緑樹の伐採で地面に太陽の光が当たるようになって、ここに来てササユリの数が増えてきました。皆さんの近くで以前ササユリの花が咲いていた所があれば、保全作業を続けてみてください。ササユリが出てくると思います。



講演会で服部先生も、持続可能な里山保全は「輪伐」であると提唱されました。昭和 30 年代半ばに、各家庭にプロパンガスが普及するまでは、我々の地区でも輪伐が行われていました。湿原の周辺 35ha は、南網引町の共有山で、冬になると薪を作る為に、住民が山に入り 1ha の木の伐採をしていました。35 年間刈り切るわけですから、35 年経てば新しい木は立派に育っています。輪伐をするには、薪等の木の消費が必要です。私は薪ストーブを提唱します。



あびき湿原の生物多様性を願い、保全作業を仲間達と 10 年続けてきて思うことは、県や市の援助は必要ですが、この保存会には本当に「いい仲間」が集まってくれたということへの感謝の気持ちです。機械に詳しい人、その使い方に長けた人、草花に詳しい人、昆虫、鳥に詳しい人など彼らは色々な分野の専門家集団です。高校生の助けや自衛隊の助けもありました。沢山の人間に関わっていただいたおかげで今の湿原があります。湿原を守るということは、単純でしんどい仕事ですが、今の活動を続けていくことが大切です。そのためにも手伝っていただける若い人、熟年のボランティアの参加をお待ちしております。

最後に持続可能な里山保全は、地面に太陽の光が当たるように、常緑樹を切り、下刈りをして歩き易い林を作ることだと思います。タケノコを取る竹林は、竹林の中を傘をさして歩けるぐらいに間伐をすると聞いています。まさしく里山も同じことが言えると思います。



地域イベント

草木染めでエコバッグ ～ごみの旅路 ゴミと資源の違いとは～



小田ふれあいマート（小野市）

令和5年9月18日、小野市小田町にあるふれあいマートの交流スペースで、草木染めでエコバッグを作るワークショップが開催されました。地域の皆さん28名が参加され、環境カウンセラーの黒谷静佳講師から講義と草木染めの指導をいただきました。



最初に黒谷講師から「地球は病気になっている」とお話しがあり、人間の営みと地球温暖化の関係について説明がありました。生活のあらゆる場面で二酸化炭素が発生しているの、不必要なものは買わないことや、ごみの減量、資源の再利用による二酸化炭素の削減、プラスチックごみが生物に与える影響についても学習しました。

その後「世界にひとつだけの草木染めマイバッグづくり」について説明がありました。まず、配布された布にペットボトルのキャップやビー玉を輪ゴムできつく留める作業を行いました。これによって染まらない部分が柄となるようです。



次に、これを水洗いし固くしぼり、玉葱の汁を煮立てた大鍋に入れて長時間ぐつぐつ煮ます。全部入れ終わったらミョウバンを入れてさらに煮ます。玉葱の皮の色がバッグに十分染み渡ったところで、今度はこれを流水で水洗いし固く絞ります。



各々最初に付けた輪ゴムやキャップ、ビー玉を外し広げると、きれいに玉葱の皮の色に染まって、キャップやビー玉のあとが思い思いの模様となったマイバッグになりました。本当に世界に一つしかないマイバッグができました。



普段何も気にせず捨てている玉ねぎの皮で草木染めを経験し、参加者のごみに対する意識の持ち方に変化があったのではないのでしょうか。

行政の活動

アスベスト含有建築物解体工事現場集中パトロールの実施 北播磨県民局



兵庫県では、建設リサイクル法に関する全国一斉パトロールにあわせて、建築物の解体工事現場等における大気汚染防止法の遵守状況の確認と周知徹底を図るため、非飛散性アスベスト含有建築物解体工事現場の集中パトロールを実施しています。



北播磨管内においても、10月23日、北播磨県民局まちづくり建築課、環境課及び加古川労働基準監督署合同で、三木市内と小野市内の建築物解体現場6カ所の集中パトロールを実施し、作業手順や標識の掲示等を確認し、アスベストの飛散防止を指導しました。

アスベスト(石綿)は、天然由来の鉱物繊維です。熱や摩擦に強く幅広い用途に使用されてきましたが、吸い込んで肺の中に入ると、潜伏期間を経て、肺がん、悪性中皮腫などの病気を引き起こすおそれがあることから、現在では、原則として製造が禁止されています。

団体の取り組み

ひょうご環境保全連絡会 北播磨支部研修会



ひょうご環境保全連絡会 北播磨支部

ひょうご環境保全連絡会は、平成26年度に兵庫県瀬戸内海環境保全連絡会と兵庫県大気環境保全連絡協議会とが統合し設立された団体です。本会会員が相互に協力し行動することによって、生活環境の保全に加え、地球温暖化防止、生物多様性及び資源循環等に関する思想の普及及び意識の高揚に努め、環境の保全と創造を総合的かつ効果的に推進することにより、豊かで美しいひょうごの実現を目指すことを目的としています。現在、知事を代表として、事業者、漁業団体、衛生団体、県・市町など約500の団体・組織が加入しています。

北播磨支部では、支部会員の51団体・組織を対象とした令和5年度研修会をWeb配信により開催しました。

今年度の研修会は、地球温暖化防止対策の一つであるカーボンニュートラルの推進に向けた会員の具体的な取り組みを支援する内容で、講演1として、企業等におけるエネルギーの「見える化」をはじめ、「診断・分析」「改善提案」など様々なサービスを通じて企業の継続的な活動を支援するESCO事業について、一般社団法人ESCO・エネルギーマネジメント推進協議会の会員・理事である大阪ガス株式会社エナジーソリューション事業部東京統括部長の田中敏英様からご講演いただきました。



講演2では、再生可能エネルギーの活用について、初期投資が不要であるPPA方式による太陽光発電の導入を促進している、ひょうご環境エネルギー合同会社の代表の大谷雄治様と、業務部長の田浦英樹様から制度のしくみや実例などについてご紹介いただきました。

支部会員すべてが研修会(Web配信)に参加して、カーボンニュートラルの推進に積極的に取り組まれることによって、北播磨の豊かな自然環境の保全に努めていただくことを祈念しています。

ひょうごの環境

ひょうご環境体験館へようこそ

公益財団法人ひょうご環境創造協会



ひょうご環境体験館は、子どもから大人まで多くの皆様が、地球温暖化をはじめとする環境問題について、「気づく」⇒「知る・学ぶ」⇒「考える」⇒「体験する」の流れを通して、楽しく体験型環境学習をすることができる施設です。皆様のご来館をお待ちしております。

〒679-5148 佐用郡佐用町光都1丁目330-3
TEL 0791-58-2065 FAX 0791-58-2069

アクセス

施設の案内



車の場合 播磨自動車道播磨新宮インターチェンジから5分

ひょうご環境体験館

公共交通機関の場合 JR 相生駅から神姫バスで40分 Spring-8 北管理棟下車徒歩10分

大部小学校水生生物調査 国土交通省姫路河川国道事務所、北播磨県民局

令和5年9月28日、小野市内の加古川流域で水生生物調査が行われました。調査場所は粟田橋東詰から約700m上流の加古川河川敷（小野市住永町）。小野市立大部小学校3年生56名（引率教員5名）が参加しました。



主催者あいさつと調査方法の説明のあと、小学生は救命胴衣の着用など準備を整え、6つの班に分かれて調査地点である州の分流（溝）へ移動。滑らないよう注意しながら溝に入り、先生から採集方法の説明を受けながら、あらかじめ配られた網を使って活動を実施。水中だけでなく草むらや石の下にも生物がいて、スタッフの指導を受けながら捕獲しました。



約1時間採集したあとテントに戻って、班ごとに捕獲生物を分類してトレイに入れ、記録表に記録しました。各班の採集生物の集約結果をスタッフが聞き取り、魚、貝、えび・かに、昆虫、その他に集計表に整理したところ、19種類の生物が見つかりました。

川の水質と、そこにすむ生物の種類には一定の関係があるため、そこから水質を判定したところ、調査地点の河川の水はきれいであること（水質は良好）がわかり、児童達からは笑顔がこぼれました。

市町の取り組み

ごみ減量化の街頭啓発活動 西脇市



西脇市と市内関係団体は、令和5年10月21日に市内のスーパーストア6カ所で、生ごみの水切りによるごみの減量化に向けた取り組みの街頭啓発を実施しました。

早朝から関係団体等の皆さん20名が西脇市役所に集合。西脇市保健衛生推進委員会の齋藤会長のあいさつ後、3～4人の班に分かれて、各店舗へ移動しました。

取材したマックスバリュ西脇寺内店では、「環境パトロール実施中」の幟を立て、環境パトロールのたすきと腕章をつけた3人が店舗出入り口で、買い物が終わったお客さんに、網タイプの水切り袋を渡して、生ごみの水切りによるごみの減量化を呼びかけました。

エコープ桜丘店では、「ゴミ 減量化資源化にご協力を！ 分ければ資源」の幟を立て、3人が店舗出入り口で生ごみの水切りによるごみの減量化を呼びかけました。

買い物客は、立ち止まって話を聞き、改めてごみの減量化の大切さを感じていました。

ハリー通信はインターネットでもご覧になれます

平成17年の創刊号から、最新の35号までのハリー通信をインターネットでもご覧になれます。「ハリー通信」←検索、又はQRコードから読み取ってください。

兵庫県北播磨県民局県民交流室環境課
電話0795-42-5111（内線341）
FAX0795-42-7535

